

立教経済学研究

近藤 晃教授記念号

近藤晃先生記念号によせて……………大橋 英五

論 文

シュルツェ＝ゲーヴァニッツの社会政策思想

——『社会平和』を中心に——……………田村 信一

産業革命期イギリスの熟練労働者とその意識

——手工業的熟練技術の変容と機械工業——……………道重 一郎

帝国論におけるマーシャル……………服部 正治

Local History Studies in Japan……………Kaoru Ugawa

The Cost of Capital and the Capital Structure : The
Researching Process of Equilibrium and the Institution

……………Masato Kamekawa

計量経済モデル分析における時系列解析の復位……………菊地 進

世紀転換期スウェーデン労働運動における日常生活

——1890年頃から1920年頃までのエスキルストゥーナの事例を
中心に——……………石原 俊時

金融バブルの膨脹・収縮メカニズムの再検討

——1980年代後半が国の資金需給構造とエクイティファイ
ナンスの意義——……………高橋 衛

青梅鉄道の設立と浅野総一郎……………渡邊 恵一

書 評

大木啓次著『マルクス経済学を見直す』（平原社、1994年）

……………鈴木 重靖

近藤晃先生の人と学問……………老川慶喜・道重一郎

近藤晃教授の略歴および業績

研究会例会報告要旨（1994年7月1日）

松下電器広告活動史……………有馬 賢治

ポスト不況の日本経済

——停滞から再生への構図——……………小西一雄・山口義行

1995 1